

山陽小野田市民病院経営強化プラン
に関する点検・評価報告書
(令和5年度)

山陽小野田市

令和7年1月

山陽小野田市民病院経営強化プラン実施状況 点検・評価（令和5年度）

山陽小野田市民病院経営強化プランは、対象期間を令和5年度から令和9年度までとし、山陽小野田市民病院が山陽小野田市や宇部小野田保健医療圏において果たすべき役割や、そのために必要な経営強化策等を示し実行していくものです。

プランの実施状況、進捗状況及び達成状況については、山陽小野田市民病院経営強化検討委員会に報告し、年1回以上の点検・評価を行うこととしております。

| | |
|-----------------------------|--|
| 名称 | 山陽小野田市民病院 |
| 所在地 | 山陽小野田市大字東高泊1863番地1 |
| 開設者 | 山陽小野田市長 |
| 開設年月日 | 昭和25年3月15日 |
| 経営形態 | 地方公営企業法全部適用（平成18年10月1日） |
| 診療科目 | 内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、脳神経内科、皮膚科、泌尿器科、歯科口腔外科、麻酔科 |
| 許可病床数 | 一般病床199床（急性期144床、地域包括ケア55床） |
| 指定等 | 救急告示病院、病院群輪番制病院、災害拠点病院 |
| プランの名称 | 山陽小野田市民病院経営強化プラン |
| 策定日 | 令和5年11月16日 |
| 対象期間 | 令和5年度から令和9年度まで |
| 地域医療構想等を踏まえた市民病院の果たすべき役割・機能 | <p>救急医療、新興感染症発生・まん延時における医療、災害医療及び人材育成などの役割を果たすとともに、地域医療構想を踏まえ、急性期病床の一部を回復期病床（地域包括ケア病床）に転換したことで、引き続き、地域包括ケアシステムの構築に寄与する。</p> <p>また、宇部小野田保健医療圏において透析機能や周産期医療で重要な役割を担う。</p> |
| 数値実績、点検結果・評価内容 | 次ページ以降のとおり |

1 総括事項

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類へ移行された後も、その流行時期には一般患者の入院制限を行うなど、感染症医療への対応に必要な医療提供体制を継続しており、依然として医療提供体制に負荷の高い状況が続きました。

こうした状況においても、今後予測される人口減少などを背景とした医療需要やこれまでの病床の稼働実績を踏まえ、宇部小野田保健医療圏で過剰な状態となっている急性期病床を16床削減し、令和5年9月からは病床数を199床といたしました。

この取組による収入増加・確保対策の成果としては、病床数を200床未満とした際に算定可能となる外来管理加算等を取得することができ、外来1人1日当たり診療収入を増加させることができました。

また、「山陽小野田市訪問看護ステーション」を設置し、地域包括ケア病床を維持しつつ、在宅医療の推進に取り組んでおります。

2 経営強化プランの点検項目

| 1 役割・機能の最適化と連携の強化 | |
|---------------------------------|---|
| (1) 地域医療構想等を踏まえた市民病院の果たすべき役割・機能 | 【目標】 市民病院として、引き続き、救急医療、新興感染症発生・まん延時における医療、災害医療、人材育成などの役割を果たすことや、医療圏で過剰となっている急性期病床を一部削減し、地域医療構想の実現に寄与する。 |
| | 【実績】 二次救急輪番病院として、医療圏における救急医療体制で一定の役割を果たし、災害医療では、能登半島地震の際にはDMATチームを被災地に派遣し活動を行った。令和5年9月には、急性期病床を16床削減し、病床数を199床としたため目標を達成した。 |
| (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能 | 【目標】 救急・手術など高度な医療を行う急性期病床、早期の在宅復帰に向けた回復期病床を持つ医療機関の機能を担っているほか、訪問看護ステーションを設置し、在宅医療の提供体制の強化を図り、介護・福祉施設等との連携強化や介護予防等啓発事業の実施を行う。 |
| | 【実績】 |

| | |
|-----------------------------|--|
| | <p>令和5年9月に山陽小野田市訪問看護ステーションを設置し、在宅医療の提供体制強化や市内の介護・福祉施設で嘱託医としての活動を通して連携強化を図った。</p> |
| (3) 機能分化・連携強化 | 【目標】 |
| | <p>医療圏において透析機能や周産期医療で重要な機能を担っているほか、公立病院として、新興感染症発生・まん延時における医療の充実強化を図る。また、地域の医療機関との連携強化のために地域医療連携室の体制強化を図るとともに、医療機器の共同利用を進める。</p> |
| | 【実績】 |
| | <p>透析機能については、手術等が必要な透析中の患者の受入れを行い、周産期医療についても、合併症を伴った妊婦への対応を継続して行った。また、地域医療連携室を増員し、前方連携、後方連携の機能強化を図った。</p> |
| (4) 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標 | 【目標】 |
| | P10～P14に記載 |
| | 【実績】 |
| | P10～P14に記載 |
| (5) 一般会計負担の考え方 | 【目標】 |
| | <p>「地方公営企業繰出金について（通知）」の総務副大臣通知に基づき算定する。</p> |
| | 【実績】 |
| | <p>目標どおり基準内での繰出金の算定を行った。</p> |
| (6) 住民の理解のための取組 | 【目標】 |
| | <p>地域住民を対象とした出前講座を実施するなど、住民に対して当院の担う役割・機能や提供する医療への理解を促す。</p> |
| | 【実績】 |
| | <p>出前講座や子ども市民教育推進講座などを通じて、当院が提供する医療への理解を促した。</p> |
| 2 医師・看護師等の確保と働き方改革 | |
| | 【目標】 |

| | |
|----------------------------------|--|
| (1) 医師・看護師等の確保 | <p>医師については、山口大学医学部への働きかけの強化のほか、院内保育所の運営などによる働きやすい勤務環境の整備に取り組む。看護師については、学校訪問による新卒者の確保のほか、既卒者についても積極的に募集するなど増員を図る。</p> |
| | <p>【実績】</p> |
| | <p>常勤医師が不足しているため、引き続き、山口大学医学部への訪問を行い、看護師についても学校訪問や積極的な募集を行った。</p> |
| (2) 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保 | <p>【目標】</p> |
| | <p>協力型臨床研修病院として、研修プログラムの充実などを図るとともに、学会・大学等への訪問機会の確保により若手医師の確保に努める。</p> |
| | <p>【実績】</p> <p>宇部中央病院の協力型臨床研修病院として、研修プログラムに係る情報提供を行い、指定要件を満たすための受入体制を維持していたものの、研修医の受入依頼はなかった。</p> |
| (3) 医師の働き方改革への対応 | <p>【目標】</p> |
| | <p>医師の負担軽減策として、これまで実施しているタスクシフトや医師事務作業補助者の活用の充実とともに、適切な労務管理の推進やICTの活用を進める。</p> |
| | <p>【実績】</p> <p>継続して医師事務作業補助者の活用を行い、労務管理を適切に行うため、ICTを活用した勤怠管理システムを導入し、医師の働き方改革への対応を行った。</p> |
| <p>3 経営形態の見直し</p> | |
| | <p>【目標】</p> |
| | <p>現行の地方公営企業法の全部適用による経営形態において計画期間中に経常収支が黒字化する数値目標を設定していることから、今後も現行どおりの経営形態で運営を続ける。</p> |
| | <p>【実績】</p> <p>地方公営企業法の全部適用による運営を続け、経営改善策の取組を実施した。</p> |
| <p>4 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組</p> | |
| | <p>【目標】</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| | <p>新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、病棟のゾーニングや簡易陰圧装置の配置等について一定の整備が進んでおり、患者の受入れなどについての各医療機関の間での連携・役割分担の明確化、感染管理認定看護師の確保・育成、感染防護具等の備蓄、院内感染対策の徹底、クラスター発生時の対応方針の共有に取り組む。</p> <p>【実績】</p> <p>これまでの経験から感染拡大時には、院内において迅速な対応を行うことができた。引き続き、院内の感染対策の徹底を院内感染対策委員会を通じて行っている。</p> |
| 5 施設・設備の最適化 | |
| (1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制 | 【目標】 |
| | 長寿命化のための方策として、設備の定期的な点検を行い、不具合が発見された際には早期の補修を行うとともに、医療機器等については計画的な更新を行う。 |
| | 【実績】 |
| | 設備の定期的な点検を実施し、必要な補修を行った。また、医療機器等については、優先順位を付けながら計画的に更新するとともに、ベンチマークを活用した価格交渉を行っている。 |
| (2) デジタル化への対応 | 【目標】 |
| | オンライン資格確認の運用により、資格確認を効率的に行い、今後は、医療情報連携が行えるよう電子カルテとの接続を進め、利用促進についても制度の周知を図る。 |
| | 【実績】 |
| | オンライン資格確認については、継続して実施しており、AI問診とともに医療の効率化、デジタル化を行った。 |
| 6 経営の効率化等 | |
| (1) 経営指標に係る数値目標 | 【目標】 |
| | P 15～P 21 に記載 |
| | 【実績】 |
| | P 15～P 21 に記載 |
| (2) 経常収支 | 【目標】 |

| | |
|--|--|
| 比率及び修正 医業収支比率 に係る目標 | P 15 に記載 |
| | 【実績】 |
| | P 15 に記載 |
| (3) 目標達成 に向けた具体的 な取組（経営 改善策） | 【目標】 |
| | 経営改革委員会を開催し、収入増加・確保対策や費用削減・抑制対策などの経営改善策の実行に向けたスケジュールの管理及び効果の検証を行う。 |
| | 【実績】 |
| (4) 経営強化 プラン対象期 間中の各年度 の収支計画等 | 収入増加・確保対策では、令和 5 年 9 月以降に病床数を 200 床未満とした際に算定できる外来管理加算等の外来収益の確保ができ、定期的な地域の医療機関への訪問活動や積極的な救急患者の受入れを徹底したことで、新規入院患者数が前年度より増加した。費用削減・抑制対策なども含めた効果額は、令和 2 年度との比較で約 2 億 6,600 万円となった。 |
| | 【目標】 |
| | P 22、P 23 に記載 |
| | 【実績】 |
| | P 22、P 23 に記載 |

3 数値目標の実績

プランにおいて設定した数値目標について、以下の評価基準に従い、評価を行いました。

【評価基準】

| | |
|---|---|
| A | 目標値に対して 100% 以上の達成（目標を達成した） |
| B | 目標値に対して 80% 以上、100% 未満の達成（目標を概ね達成したが、より一層の取組が必要である） |
| C | 目標値に対して 70% 以上、80% 未満の達成（目標を達成しておらず、より一層の取組が必要である） |

| | |
|---|---|
| D | 目標値に対して 60%以上、70%未満の達成（目標を達成しておらず、改善が必要である） |
| E | 目標値に対して 60%未満の達成（目標を達成しておらず、大きな改善が必要である） |

| 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標 | | |
|---|---|------------|
| ①医療機能に係るもの | 透析件数はわずかに目標値を下回りましたが、それ以外のすべての数値目標は目標値を上回ることができました。 | P 10、 P 11 |
| ②医療の質に係るもの | クリニカルパス使用率が目標値を下回りました。 | P 12 |
| ③連携の強化等に係るもの | 紹介率が算定方法の変更により目標値を下回りましたが、従前の算定方法なら目標値を上回り、逆紹介率も目標値を上回りました。 | P 13 |
| ④その他 | 看護師実務実習生の受入件数が目標値を上回ったものの、薬剤師実務実習生の受入件数が目標値を下回りました。 | P 13、 P 14 |
| 経営指標に係る数値目標 | | |
| ①収支改善に係るもの | 経常収支比率や修正医業収支比率が目標値を下回りました。 | P 15、 P 16 |
| ②収入確保に係るもの | 入院及び外来 1 人 1 日当たり診療収入がそれぞれ目標値を上回りましたが、1 日当たり入院及び外来患者数がそれぞれ目標値を下回りました。 | P 16～ P 18 |
| ③経費削減に係るもの | 医業収益の減少によりすべての費用の対修正医業収益比率が悪化となりました。 | P 18～ P 20 |
| ④経営の安定性に係るもの | 医師数が目標値と同数となりましたが、現金保有残高が目標値を下回りました。 | P 21 |
| 収支計画（収益的収支） | | |
| <p>経常収益は、料金収入のうち外来収益が 4,806 万 6 千円増加したものの、入院収益は 1 日当たり入院患者数が目標値を下回り、8,868 万 7 千円減少しました。これらにより、経常収益が 6,359 万 7 千円減少しました。</p> | | P 22 |

| | |
|--|------|
| <p>経常費用は、職員給与費が人事院勧告に基づく給与改定による影響により 4,566 万 9 千円増加し、加えて、材料費のうち薬品費は注射用薬品費の増加などにより 7,977 万 8 千円増加しました。これらにより、経常費用が 1 億 1,411 万 2 千円増加しました。</p> <p>経常損益は、目標値 735 万 9 千円の経常損失に対して、実績値 1 億 8,506 万 8 千円の経常損失となり、1 億 7,770 万 9 千円の悪化となりました。これに、特別損益を加えた純損益は、目標値 835 万 9 千円の純損失に対して、実績値 1 億 7,802 万円の純損失となり、1 億 6,966 万 1 千円の悪化となりました。</p> <p>資金の不足額については、発生はしていないものの、目標値に対して 6,012 万 6 千円の悪化となり、10 億 673 万 4 千円の余剰となりました。</p> | |
| 収支計画（資本的収支） | |
| <p>収入は企業債が 5,930 万円減少し、支出は建設改良費が 5,937 万 1 千円減少しました。収入と支出の差引不足額は 2 億 1,398 万 7 千円となり、2 万 3 千円の改善となりました。</p> | P 23 |

【評価結果集計】

| | | 目標数 | A | B | C | D | E |
|-------------------------|--------------|-----|----|----|---|---|---|
| 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標 | ①医療機能に係るもの | 6 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | ②医療の質に係るもの | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | ③連携の強化等に係るもの | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | ④その他 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 14 | 10 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| 経営指標に係る数値目標 | ①収支改善に係るもの | 5 | 0 | 5 | 0 | 0 | 0 |
| | ②収入確保に係るもの | 6 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| | ③経費削減に係るもの | 7 | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 |
| | ④経営の安定性に係るもの | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 小計 | 21 | 7 | 14 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | | 35 | 17 | 18 | 0 | 0 | 0 |

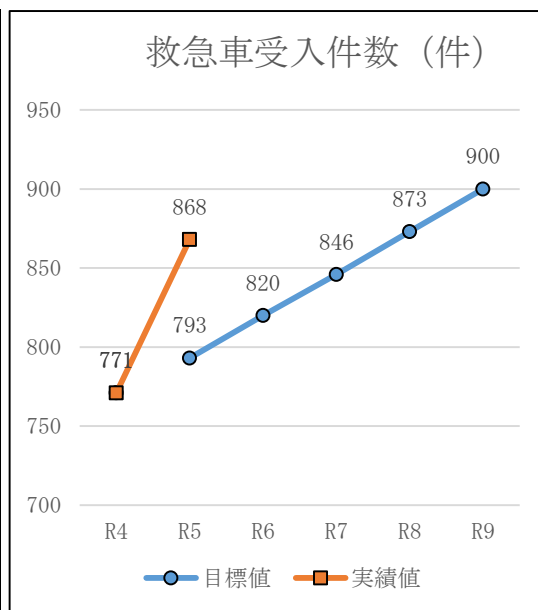
医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値は、A評価項目が多く計画どおり推移していますが、経営指標に係る数値は、経営改善策を実行しているものの入院患者数が目標値を下回ったことや人事院勧告に基づく給与改定による影響により職員給与が増加したことなどによって、収支が悪化したためB評価項目が多くなりました。

この結果を踏まえ、次年度以降の目標達成に向けて、本プランにおいて示した、当院が宇部小野田保健医療圏の中で担う重要な機能である透析機能や周産期医療などの役割を果たすとともに、経営の効率化をさらに推し進め、収入増加・確保対策を中心とした経営改善策の取組を徹底してまいります。

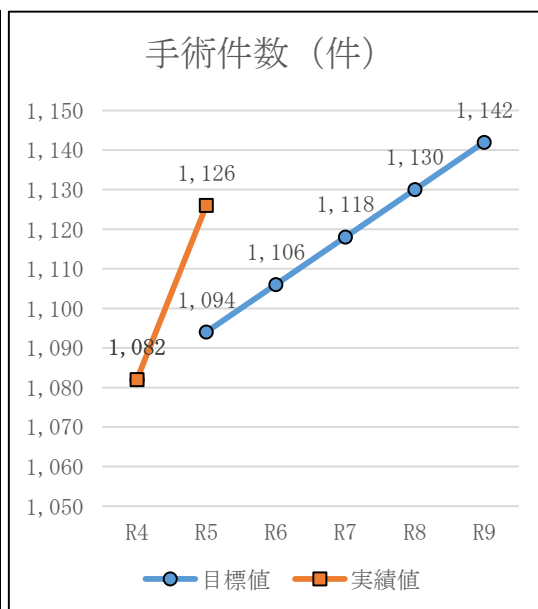
医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

①医療機能に係るもの

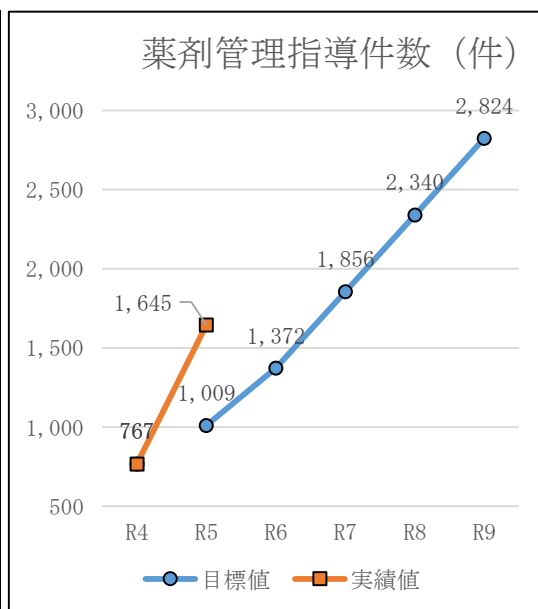
| No. | 数値目標 | 救急車受入件数 (件) | |
|-------------------------------------|--|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 1 | 771 | 793 | 900 |
| | | 868 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 受入れ状況の把握や情報共有のため、電子カルテ上に目標値及び実績値を掲載し、意識付けを行ったこともあり、目標値を上回った。 | | |
| | 翌年度以降の取組事項等 | | |
| 引き続き、関係機関との連携を図るとともに職員への働きかけを行っていく。 | | | |



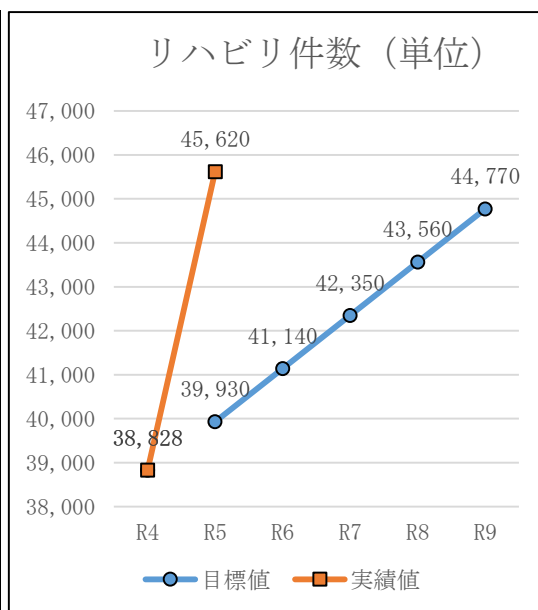
| No. | 数値目標 | 手術件数 (件) | |
|---------------------------------|---|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 2 | 1,082 | 1,094 | 1,142 |
| | | 1,126 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 病欠により1名減だった外科医師が補充され、外科の手術件数がR4:247件からR5:318件と71件の増加となったため目標値を上回った。 | | |
| | 翌年度以降の取組事項等 | | |
| 救急患者、紹介患者を積極的に受け入れ、手術件数の増加に努める。 | | | |



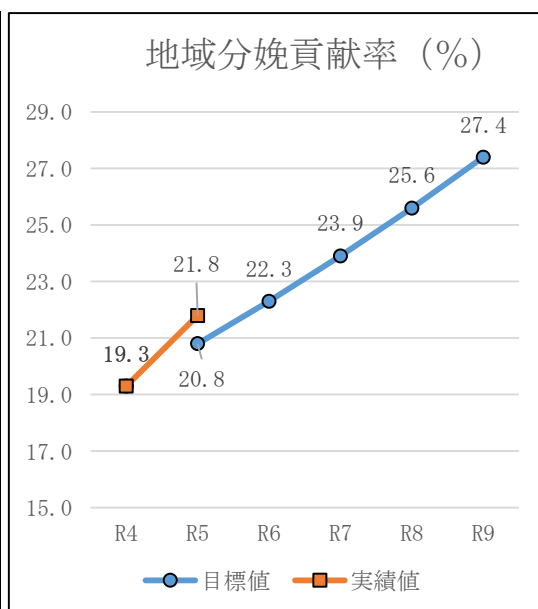
| No. | 数値目標 | 薬剤管理指導件数 (件) | |
|--------------------------|--|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 3 | 767 | 1,009 | 2,824 |
| | | 1,645 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 薬剤師2名の増員により、計画的な薬剤管理指導を実施することができたため目標値を上回った。 | | |
| | 翌年度以降の取組事項等 | | |
| 積極的に薬剤管理指導を実施し、件数増加に努める。 | | | |



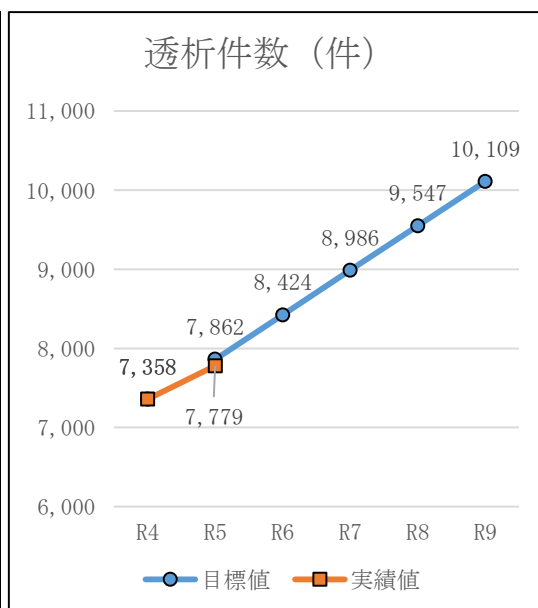
| No. | 数値目標 | リハビリ件数（単位） | |
|----------------------|---|-----------------|--------|
| | 参考値 | 目標値（上段）・実績値（下段） | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 4 | 38,828 | 39,930 | 44,770 |
| | | 45,620 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 感染症患者用の確保病床がなくなり通常運用となったことにより1日当たり入院患者数がR4：144人からR5：165人と増加し、リハビリ対象患者も増加したため目標値を上回った。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 引き続き、リハビリ単位数の増加に努める。 | | | |



| No. | 数値目標 | 地域分娩貢献率（%） | |
|---|--|-----------------|-------|
| | 参考値 | 目標値（上段）・実績値（下段） | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 5 | 19.3 | 20.8 | 27.4 |
| | | 21.8 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 令和4年度の分娩件数275件（無痛分娩22件）から令和5年度294件（無痛分娩58件）と増加したこともあり目標値を上回った。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 引き続き、産婦人科（無痛分娩）のPR活動等を実施し、地域分娩貢献率の向上に努める。 | | | |

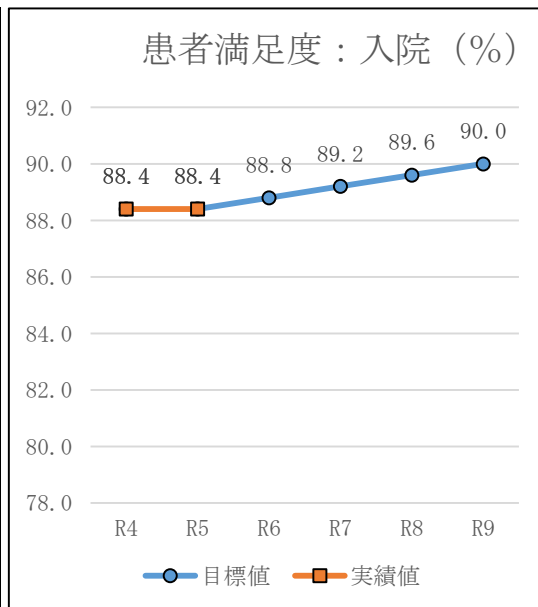


| No. | 数値目標 | 透析件数（件） | |
|--------------------------|--|-----------------|--------|
| | 参考値 | 目標値（上段）・実績値（下段） | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 6 | 7,358 | 7,862 | 10,109 |
| | | 7,779 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 令和4年度と比べて透析患者が3名増加したことにより、透析件数は421件増加したが、目標値を下回った。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 透析患者の獲得に注力し、透析件数の増加に努める。 | | | |

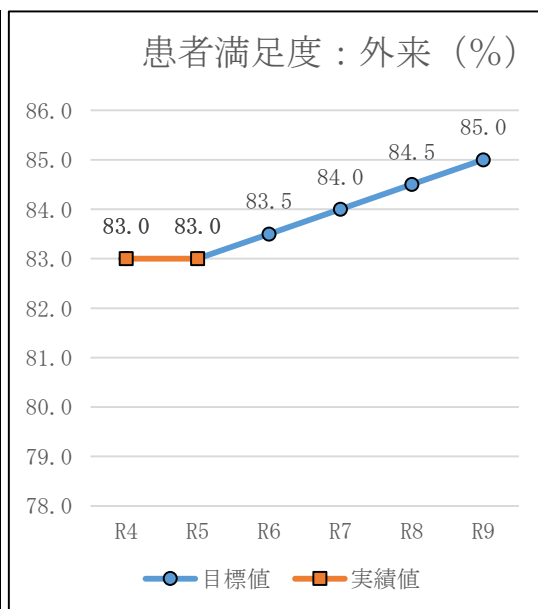


②医療の質に係るもの

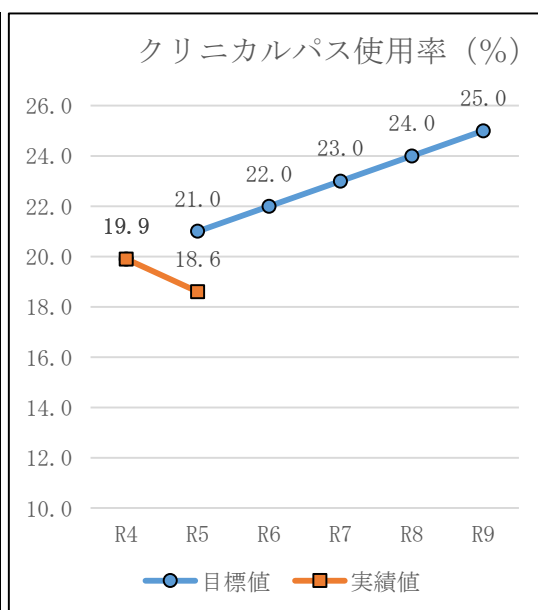
| No. | 数値目標 | 患者満足度：入院 (%) | |
|---|---|-------------------|-------|
| 7 | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| | 88.4 | 88.4 | 90.0 |
| | | 88.4 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 入院中の患者から意見、要望等を伺い、医療サービスの質の向上に活用するための満足度アンケート調査を実施した。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 引き続き、入院患者への満足度アンケート調査を実施し、意見、要望等を参考にして医療サービスの質の向上に向けて努めていく。 | | | |



| No. | 数値目標 | 患者満足度：外来 (%) | |
|---|--|-------------------|-------|
| 8 | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| | 83.0 | 83.0 | 85.0 |
| | | 83.0 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 外来患者から当院を受診した際の意見、要望等を伺い、医療サービスの質の向上に活用するための満足度アンケート調査を実施した。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 引き続き、外来患者への満足度アンケート調査を実施し、意見、要望等を参考にして医療サービスの質の向上に向けて努めていく。 | | | |

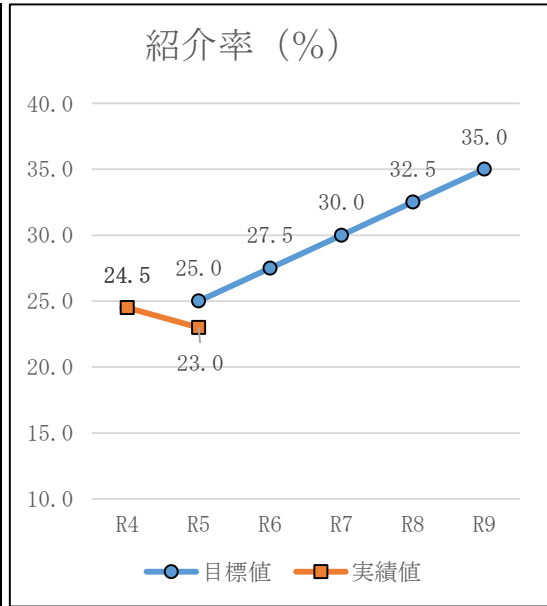


| No. | 数値目標 | クリニカルパス使用率 (%) | |
|--|---|-------------------|-------|
| 9 | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| | 19.9 | 21.0 | 25.0 |
| | | 18.6 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 令和4年度から使用率の変化は少なく、目標値に対しても下回った。一方で、使用した診療科については4診療科から6診療科へ増加した。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 令和6年度からDPC対象病院へ移行したことにより、診療報酬と医療資源投入量の乖離や診療内容のバラつきがあるものを中心にクリニカルパスの導入を検討していき、使用率と収入に対する医療資源投入量のバランスを向上させる。 | | | |

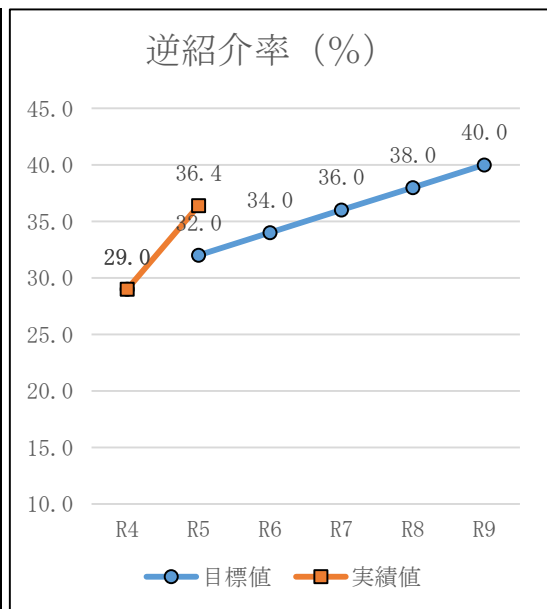


③連携の強化等に係るもの

| No. | 数値目標 | 紹介率 (%) | |
|---|---|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 10 | 24.5 | 25.0 | 35.0 |
| | | 23.0 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 紹介率の算出方法が変更となったため目標値を下回った。従来の算出方法ならR5:26.5%となり目標値を上回っていた。 | | |
| | 翌年度以降の取組事項等 | | |
| 継続的な集患活動を実施し、紹介率の向上に努める。 【参考】紹介率算定方法 R4:紹介患者÷(初診患者-救急搬送患者-時間外患者) R5:(紹介患者+救急搬送患者)÷初診患者 | | | |

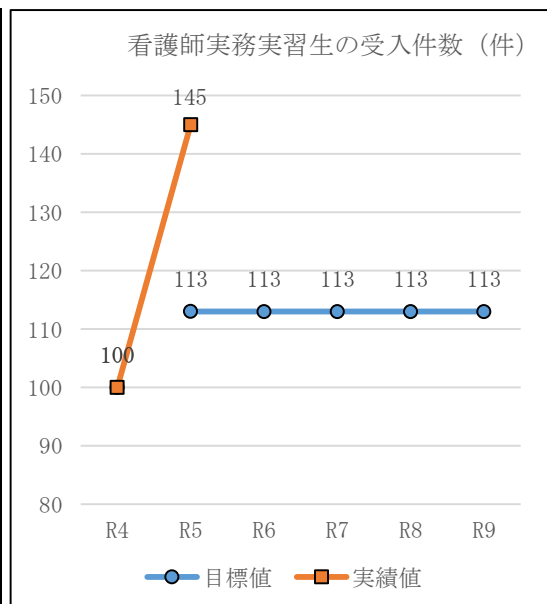


| No. | 数値目標 | 逆紹介率 (%) | |
|---|---------------------------------------|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 11 | 29.0 | 32.0 | 40.0 |
| | | 36.4 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 医師に逆紹介の重要性の説明を行い、逆紹介を促進することで目標値を上回った。 | | |
| | 翌年度以降の取組事項等 | | |
| 継続的に医師へ逆紹介の促進を行う。スムーズに逆紹介のできる院内システムの構築に努める。 | | | |

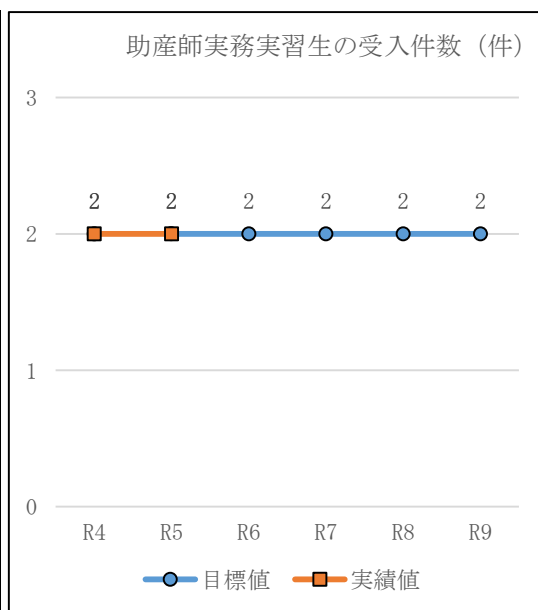


④その他

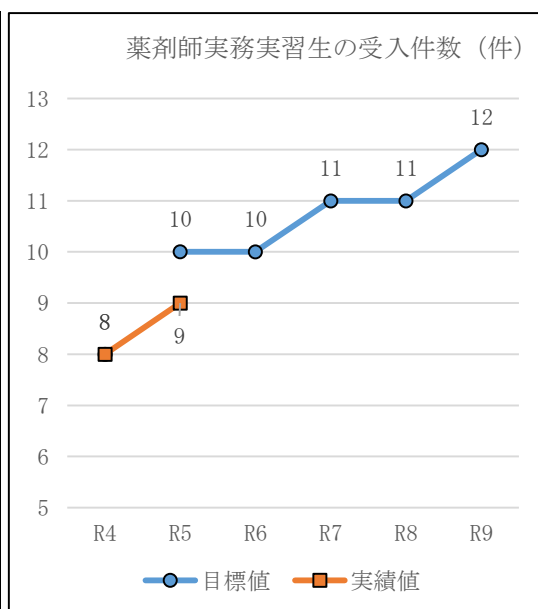
| No. | 数値目標 | 看護師実務実習生の受入件数 (件) | |
|---------------------------------------|---|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 12 | 100 | 113 | 113 |
| | | 145 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 宇部看護専門学校等からの看護師実務実習生を受け入れ、看護基礎教育の充実・推進のための臨地実習を行い、今年度は目標値を上回った。 | | |
| | 翌年度以降の取組事項等 | | |
| 看護専攻科学生の臨地実習の受け入れを実施し、医療従事者の育成に努めていく。 | | | |



| No. | 数値目標 | 助産師実務実習生の受入件数（件） | |
|---------------------------------------|---|------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値（上段）・実績値（下段） | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 13 | 2 | 2 | 2 |
| | | 2 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 山口大学、西南女学院大学からの助産師実務実習生を受け入れ、助産学教育の充実・推進のための臨地実習を行い、目標値と同数となった。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 助産別科学生の助産学実習の受け入れを実施し、医療従事者の育成に努めていく。 | | | |



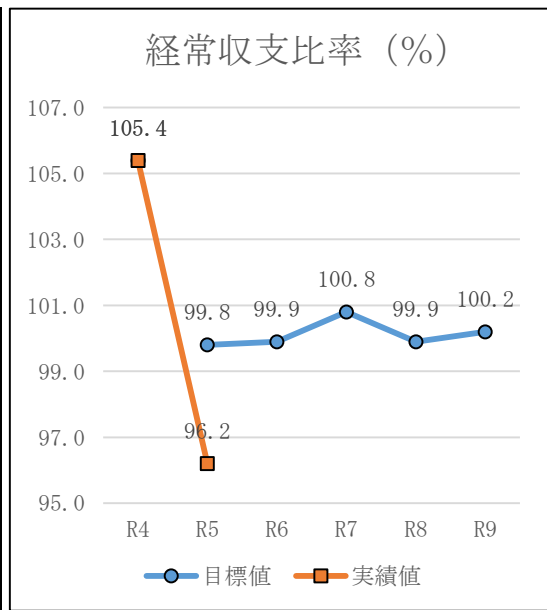
| No. | 数値目標 | 薬剤師実務実習生の受入件数（件） | |
|--------------------------------------|--|------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値（上段）・実績値（下段） | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 14 | 8 | 10 | 12 |
| | | 9 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 山口東京理科大学、大阪医科薬科大学の薬学部生の病院実務実習を年3回に分け受け入れ、医療従事者の育成に努めてきたが、目標値を下回った。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 薬学部生の病院実務実習の受け入れを実施し、医療従事者の育成に努めていく。 | | | |



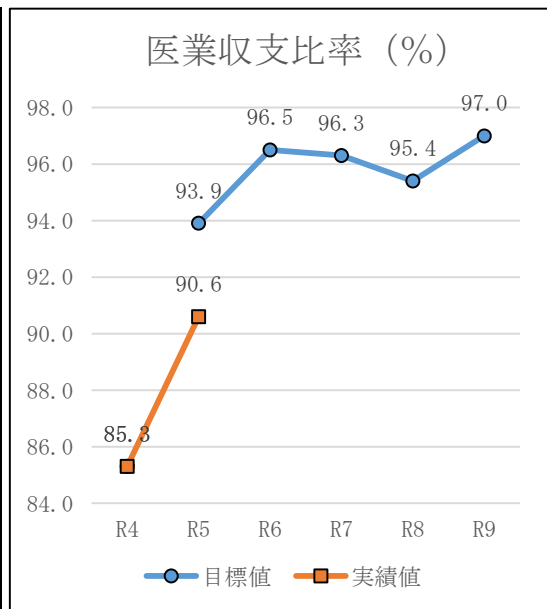
経営指標に係る数値目標

①収支改善に係るもの

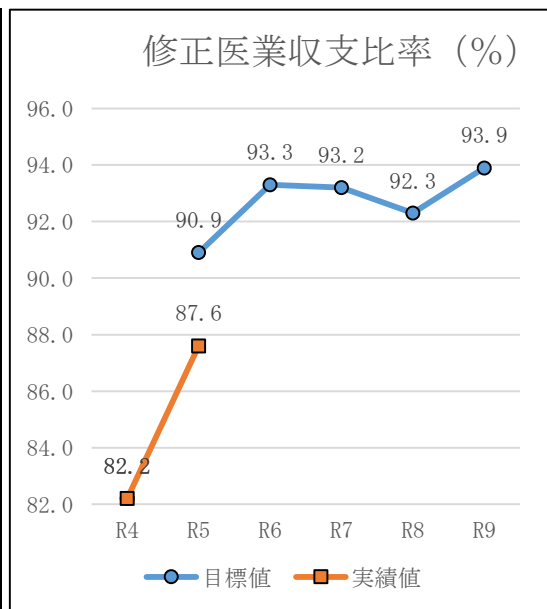
| No. | 数値目標 | 経常収支比率 (%) | |
|-----|--|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 15 | 105.4 | 99.8 | 100.2 |
| | | 96.2 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 外来収益は注射料収入や病床数を200床未満とした際に算定ができる収益の取得により増加となったが、入院収益の減少や給与費及び材料費などの増加などにより、目標値を下回った。 | | |
| | 翌年度以降の取組事項等 令和6年度にDPC対象病院へ移行することにより入院収益を確保するなど、着実に経営改善策を実行していく。 | | |



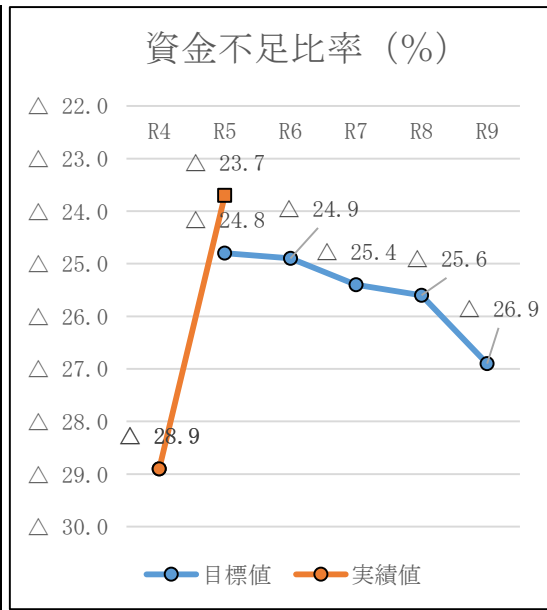
| No. | 数値目標 | 医業収支比率 (%) | |
|-----|---|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 16 | 85.3 | 93.9 | 97.0 |
| | | 90.6 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 外来収益は注射料収入や病床数を200床未満とした際に算定ができる収益の取得により増加となったが、入院収益の減少や材料費のうち薬品費の増加などにより、目標値を下回った。 | | |
| | 翌年度以降の取組事項等 令和6年度にDPC対象病院へ移行することにより入院収益を確保するほか、医薬品等のベンチマークを活用した価格交渉を徹底し材料費を削減するなど、着実に経営改善策を実行していく。 | | |



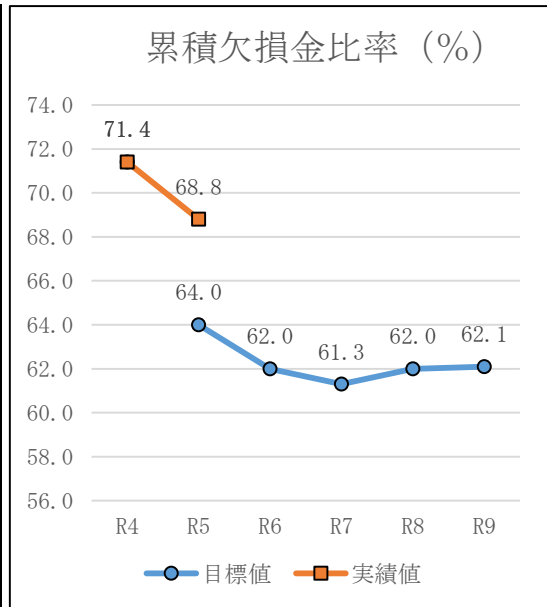
| No. | 数値目標 | 修正医業収支比率 (%) | |
|-----|---|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 17 | 82.2 | 90.9 | 93.9 |
| | | 87.6 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 外来収益は注射料収入や病床数を200床未満とした際に算定ができる収益の取得により増加となったが、入院収益の減少や材料費のうち薬品費の増加などにより、目標値を下回った。 | | |
| | 翌年度以降の取組事項等 令和6年度にDPC対象病院へ移行することにより入院収益を確保するほか、医薬品等のベンチマークを活用した価格交渉を徹底し材料費を削減するなど、着実に経営改善策を実行していく。 | | |



| No. | 数値目標 | 資金不足比率 (%) | |
|-----------------------------|---|-------------------|--------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 18 | △ 28.9 | △ 24.8 | △ 26.9 |
| | | △ 23.7 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 料金収入のうち入院収益が減少となり、資金不足額が増加したことなどにより、悪化となった。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 安定した料金収入を確保することで、数値の改善に努める。 | | | |

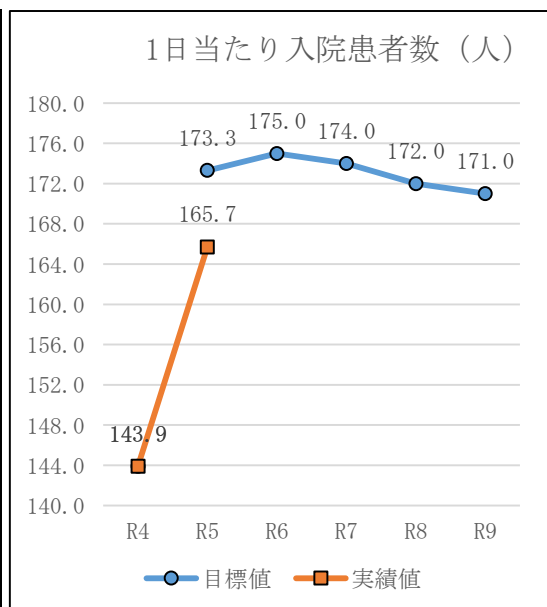


| No. | 数値目標 | 累積欠損金比率 (%) | |
|------------------------------|-------------------------------------|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 19 | 71.4 | 64.0 | 62.1 |
| | | 68.8 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 純損失が増加となり、累積欠損金が増加したことなどにより、悪化となった。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 経営改善策を実行していくことで、単年度収支の改善を図る。 | | | |

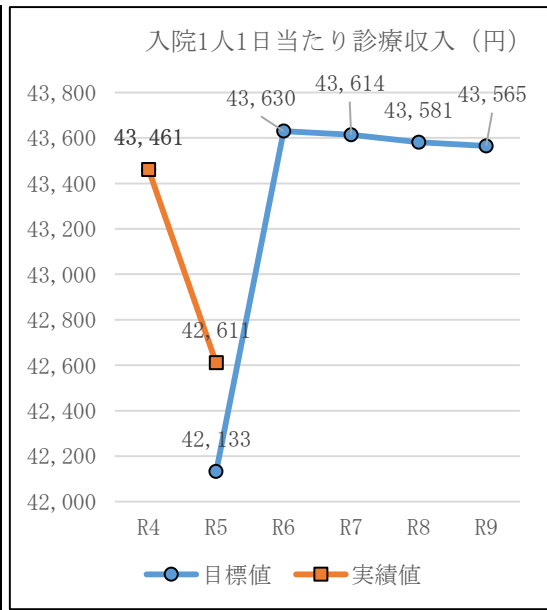


②収入確保に係るもの

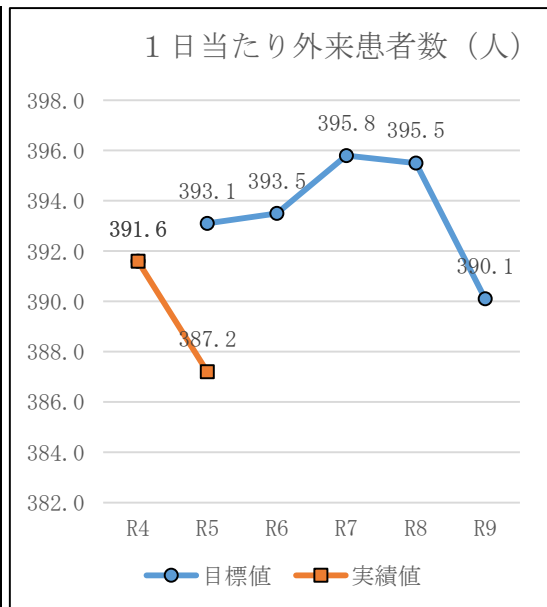
| No. | 数値目標 | 1日当たり入院患者数 (人) | |
|---|--|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 20 | 143.9 | 173.3 | 171.0 |
| | | 165.7 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 紹介患者・救急患者の確保活動などを行ったものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時に一般患者の入院制限が必要になったことなどにより、目標値を下回った。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 積極的な救急患者の受入れや定期的に地域の医療機関へ訪問を行うことにより連携を深め、新規入院患者の獲得に努める。 | | | |



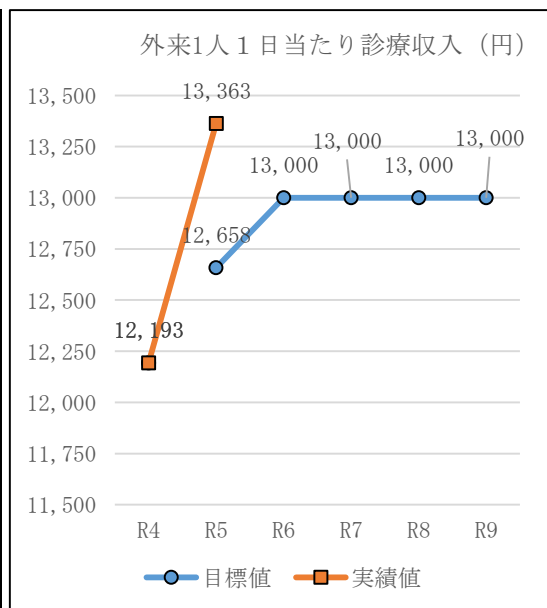
| No. | 数値目標 | 入院1人1日当たり診療収入（円） | |
|---|---|------------------|--------|
| | 参考値 | 目標値（上段）・実績値（下段） | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 21 | 43,461 | 42,133 | 43,565 |
| | | 42,611 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | <p>夜間看護補助者を配置することで取得可能な施設基準の取得はできなかったが、目標値を上回ることができた。</p> | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| <p>令和6年度にDPC対象病院へ移行することにより入院収益を確保するなど、収入増加・確保対策を実行していく。</p> | | | |



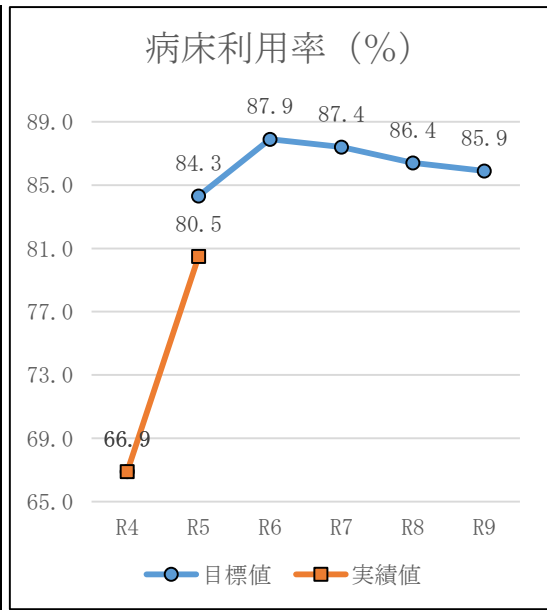
| No. | 数値目標 | 1日当たり外来患者数（人） | |
|--|--|-----------------|-------|
| | 参考値 | 目標値（上段）・実績値（下段） | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 22 | 391.6 | 393.1 | 390.1 |
| | | 387.2 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | <p>紹介患者・救急患者の確保活動などを行ったものの、歯科口腔外科において医師が1名体制となる期間が生じたことにより患者数が前年度比で1,932人減少したこともあり、目標値を下回った。</p> | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| <p>定期的に地域の医療機関へ訪問することにより連携を深め、信頼関係の強化に努めることで、紹介患者の増加を図る。</p> | | | |



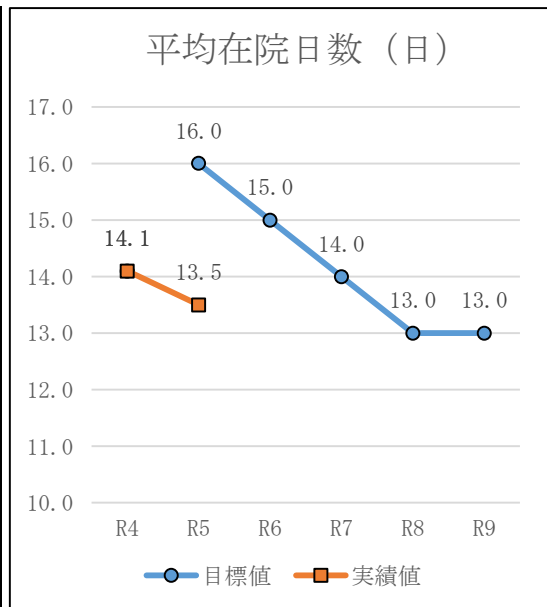
| No. | 数値目標 | 外来1人1日当たり診療収入（円） | |
|---|---|------------------|--------|
| | 参考値 | 目標値（上段）・実績値（下段） | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 23 | 12,193 | 12,658 | 13,000 |
| | | 13,363 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | <p>注射料収入や病床数を200床未満とした際に算定ができる外来管理加算等の効果などにより、目標値を上回った。</p> | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| <p>診療報酬改定を踏まえた診療報酬の加算等を取得できるような確かな分析を行い、対策を講じる。</p> | | | |



| No. | 数値目標 | 病床利用率 (%) | |
|---|--|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 24 | 66.9 | 84.3 | 85.9 |
| | | 80.5 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 紹介患者・救急患者の確保活動などを行ったものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大時に一般患者の入院制限が必要になったことなどにより、目標値を下回った。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 積極的な救急患者の受入れや定期的に地域の医療機関へ訪問を行うことにより連携を深め、新規入院患者の獲得に努める。 | | | |

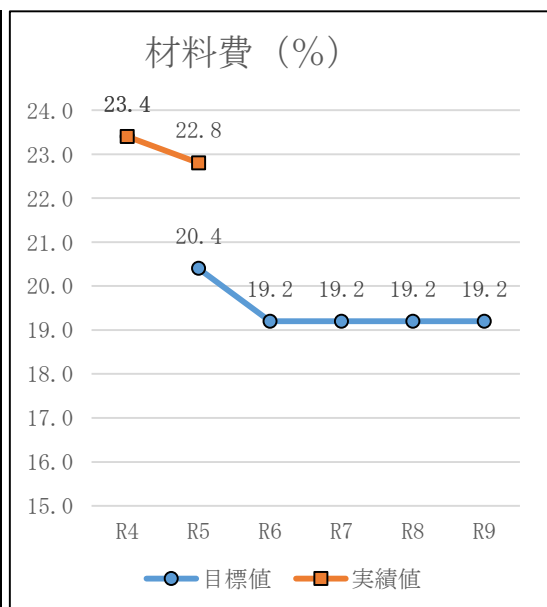


| No. | 数値目標 | 平均在院日数 (日) | |
|--|--|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 25 | 14.1 | 16.0 | 13.0 |
| | | 13.5 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 平均在院日数は短縮傾向となっており、目標値より短くなった。一方で、新規入院患者数が増加しなかったため、病床利用率が低下し入院収益が減少となった。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 極端に平均在院日数が短縮しないように、DPC対象病院と比較し、適正な入院期間を見極める。 | | | |

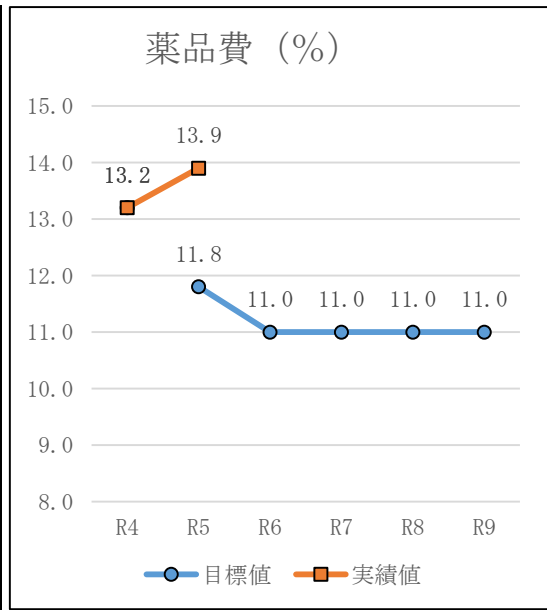


③経費削減に係るもの

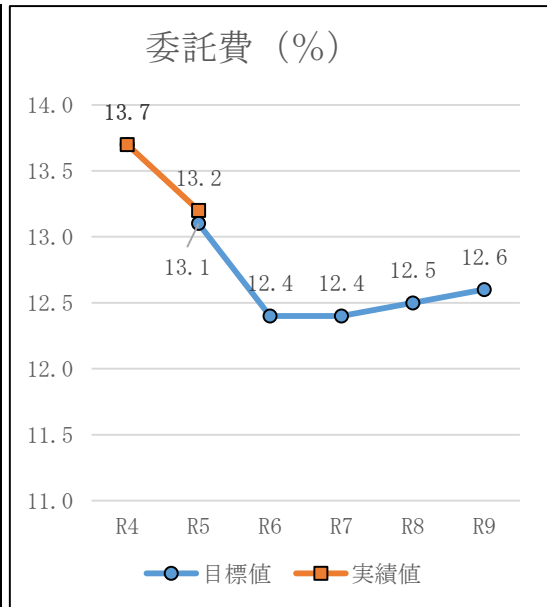
| No. | 数値目標 | 対修正医業収益比率材料費 (%) | |
|---|---|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 26 | 23.4 | 20.4 | 19.2 |
| | | 22.8 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 医業収益の減少に加えて、化学療法患者数の増による注射用薬品費やその他材料費の増加などにより、悪化となった。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 医薬品及び診療材料などのベンチマークを活用した価格交渉を徹底し、材料費の削減に努める。 | | | |



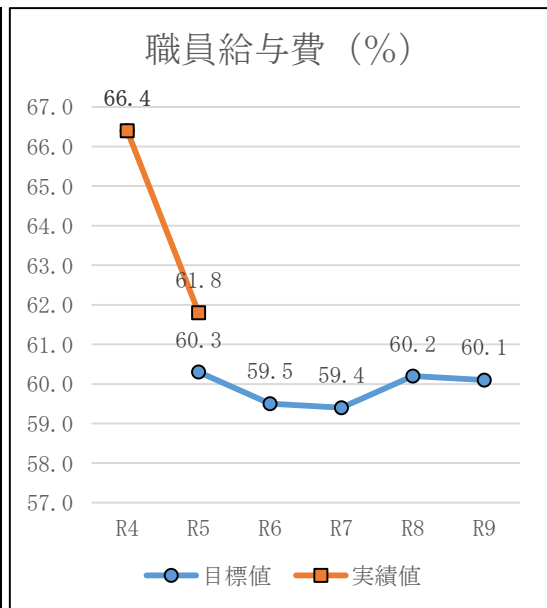
| No. | 数値目標 | 対修正医業収益比率薬品費 (%) | |
|--|---|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 27 | 13.2 | 11.8 | 11.0 |
| | | 13.9 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | <p>医業収益の減少に加えて、化学療法患者数の増による注射用薬品費の増加などにより、悪化となった。</p> | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| <p>医薬品のベンチマークを活用した価格交渉を徹底し、材料費の削減に努める。</p> | | | |



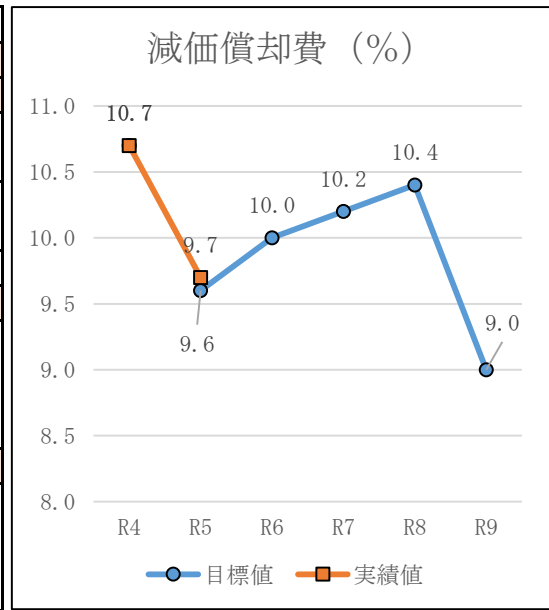
| No. | 数値目標 | 対修正医業収益比率委託費 (%) | |
|---|---|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 28 | 13.7 | 13.1 | 12.6 |
| | | 13.2 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | <p>委託料は減額となったものの、医業収益の減少により、悪化となった。</p> | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| <p>医療機器などの保守委託料は、委託の範囲や修繕料との比較による見直しを行うとともに、役務費や物価高騰による影響についても費用抑制に向けた対策を講じる。</p> | | | |



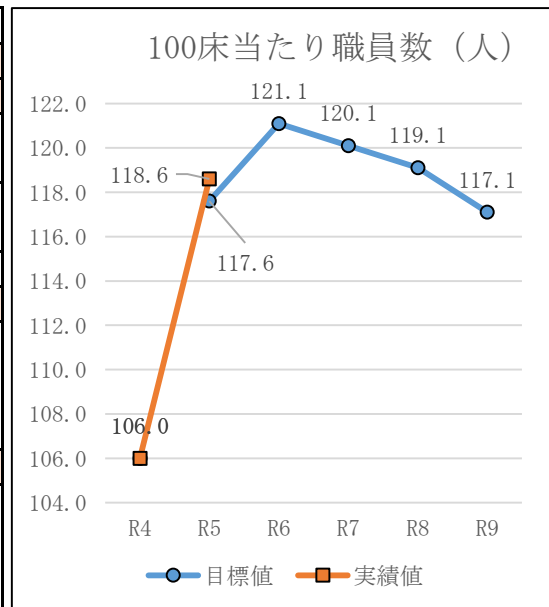
| No. | 数値目標 | 対修正医業収益比率職員給与費 (%) | |
|--|--|--------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 29 | 66.4 | 60.3 | 60.1 |
| | | 61.8 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | <p>医業収益の減少に加えて、人事院勧告に基づく給与改定による影響により、悪化となった。</p> | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| <p>診療報酬の加算が取得できる施設基準の条件と人員配置を勘案しながら収入を確保しつつ、当該比率の抑制に努める。</p> | | | |



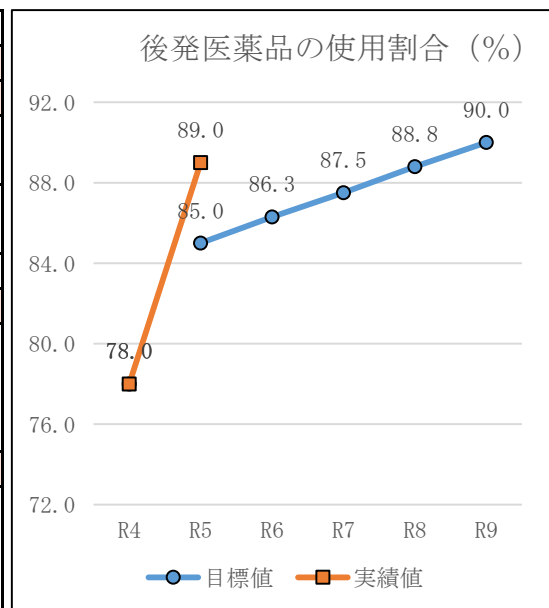
| No. | 数値目標 | 対修正医業収益比率減価償却費 (%) | |
|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 30 | 10.7 | 9.6 | 9.0 |
| | | 9.7 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 減価償却費は減額となったものの、医業収益の減少により、悪化となった。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 施設・設備等の長寿命化を図り、医療機器等については、計画的な更新を行う。 | | | |



| No. | 数値目標 | 100床当たり職員数 (人) | |
|------------------------------------|----------------------------------|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 31 | 106.0 | 117.6 | 117.1 |
| | | 118.6 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 薬剤部、医療技術部及び地域医療連携室の増員があり、増加となった。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 高度化・多様化する医療環境へ対応するため、必要な人員の確保に努める。 | | | |

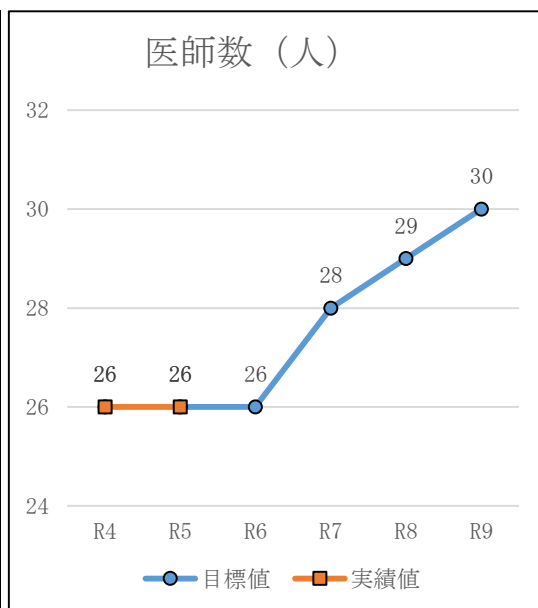


| No. | 数値目標 | 後発医薬品の使用割合 (%) | |
|--|---|-------------------|-------|
| | 参考値 | 目標値 (上段)・実績値 (下段) | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 32 | 78.0 | 85.0 | 90.0 |
| | | 89.0 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | DPC対象病院へ移行するため、積極的に後発医薬品へ切り替えたことにより、目標値を上回った。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 引き続き、後発医薬品使用体制加算を取得し、上位の加算が維持できるよう努める。 | | | |

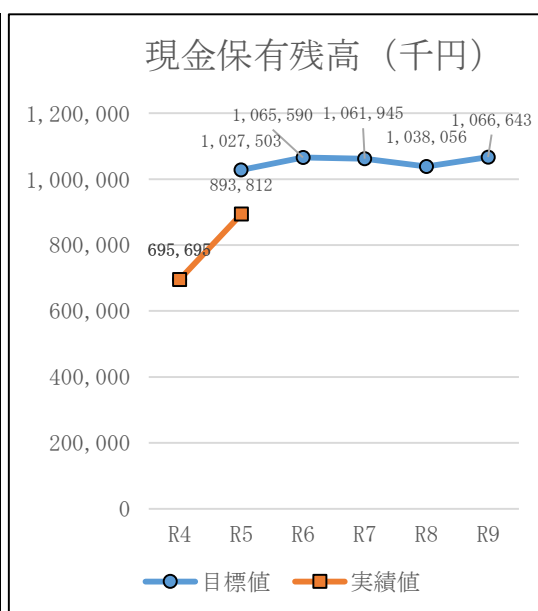


④経営の安定性に係るもの

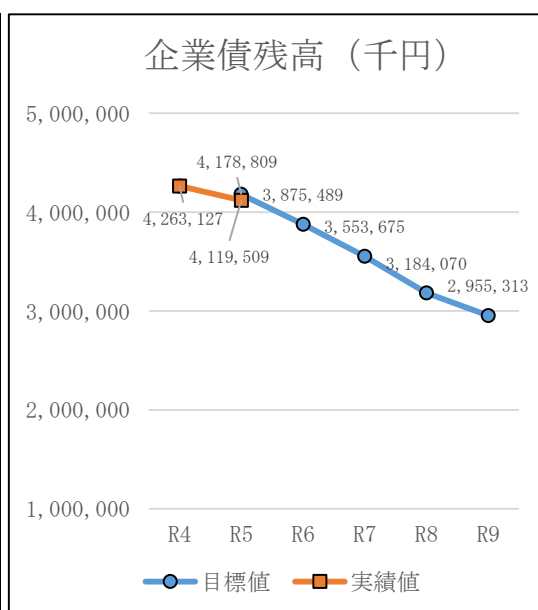
| No. | 数値目標 | 医師数（人） | |
|--|---------------------------|-----------------|-------|
| | 参考値 | 目標値（上段）・実績値（下段） | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 33 | 26 | 26 | 30 |
| | | 26 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 医師の人員体制に変動はなく、目標値と同数となった。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 現在の人員を確保しつつ、山口大学医学部への働きかけや働きやすい勤務環境の整備に取り組む。 | | | |



| No. | 数値目標 | 現金保有残高（千円） | |
|--|----------------------------|-----------------|-----------|
| | 参考値 | 目標値（上段）・実績値（下段） | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 34 | 695,695 | 1,027,503 | 1,066,643 |
| | | 893,812 | |
| | 目標の達成状況 | | B |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 料金収入の減少や支出の増加により、目標値を下回った。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 経営基盤の安定化を図るためには、現金保有残高の増加が必要であるため、料金収入の増加や支出の抑制に努める。 | | | |



| No. | 数値目標 | 企業債残高（千円） | |
|---|---|-----------------|-----------|
| | 参考値 | 目標値（上段）・実績値（下段） | |
| | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和9年度 |
| 35 | 4,263,127 | 4,178,809 | 2,955,313 |
| | | 4,119,509 | |
| | 目標の達成状況 | | A |
| | 令和5年度の実施内容等 | | |
| | 建設改良費に係る事業費の減額により令和5年度に発行した企業債が減額となったため、減少した。 | | |
| 翌年度以降の取組事項等 | | | |
| 資産とのバランスに留意し、計画的な施設や設備の更新などを行い、経営基盤の安定化を図る。 | | | |



1. 収支計画(収益的収支)

(単位:千円、%)

| 区分 | 年度 | R4実績 | R5 | | 差 ②-① | R9 |
|---|---------------------|-------------|-------------|-----------|-------------|-----------|
| | | | 目標数値① | 実績② | | |
| 収 入 | 1. 医 業 収 益 a | 3,846,398 | 4,302,023 | 4,247,024 | ▲ 54,999 | 4,379,009 |
| | (1) 料 金 収 入 | 3,443,201 | 3,881,938 | 3,841,317 | ▲ 40,621 | 3,958,759 |
| | 入 院 収 益 | 2,283,070 | 2,672,808 | 2,584,121 | ▲ 88,687 | 2,726,554 |
| | 外 来 収 益 | 1,160,131 | 1,209,130 | 1,257,196 | 48,066 | 1,232,205 |
| | (2) そ の 他 | 403,197 | 420,085 | 405,707 | ▲ 14,378 | 420,250 |
| | う ち 他 会 計 負 担 金 | 141,474 | 139,809 | 143,140 | 3,331 | 143,610 |
| | う ち 基 準 内 繰 入 金 | 141,474 | 139,809 | 143,140 | 3,331 | 143,610 |
| | う ち 基 準 外 繰 入 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 2. 医 業 外 収 益 | 1,116,319 | 496,029 | 491,517 | ▲ 4,512 | 361,700 |
| | (1) 他 会 計 負 担 金 | 65,537 | 78,780 | 78,203 | ▲ 577 | 103,243 |
| | う ち 基 準 内 繰 入 金 | 65,537 | 78,780 | 78,203 | ▲ 577 | 103,243 |
| | う ち 基 準 外 繰 入 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (2) 他 会 計 補 助 金 | 125,162 | 135,558 | 128,682 | ▲ 6,876 | 137,599 |
| | う ち 基 準 内 繰 入 金 | 125,162 | 135,558 | 128,682 | ▲ 6,876 | 137,599 |
| う ち 基 準 外 繰 入 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (3) 国 (県) 補 助 金 | 782,794 | 75,225 | 74,370 | ▲ 855 | 0 | |
| (4) 長 期 前 受 金 戻 入 | 123,846 | 188,476 | 188,476 | 0 | 103,078 | |
| (5) そ の 他 | 18,980 | 17,990 | 21,786 | 3,796 | 17,780 | |
| 3. 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 事 業 収 益 | 0 | 6,020 | 1,934 | ▲ 4,086 | 30,960 | |
| (1) 事 業 収 益 | 0 | 6,020 | 1,934 | ▲ 4,086 | 30,960 | |
| 経 常 収 益 (A) | 4,962,717 | 4,804,072 | 4,740,475 | ▲ 63,597 | 4,771,669 | |
| 支 出 | 1. 医 業 費 用 b | 4,507,281 | 4,579,488 | 4,685,436 | 105,948 | 4,512,872 |
| | (1) 職 員 給 与 費 c | 2,459,696 | 2,491,607 | 2,537,276 | 45,669 | 2,518,098 |
| | 基 本 給 | 993,813 | 1,012,311 | 1,026,640 | 14,329 | 1,028,725 |
| | 退 職 給 付 費 | 101,457 | 105,782 | 103,750 | ▲ 2,032 | 122,047 |
| | そ の 他 | 1,364,426 | 1,373,514 | 1,406,886 | 33,372 | 1,367,326 |
| | (2) 材 料 費 | 866,346 | 850,980 | 934,908 | 83,928 | 812,228 |
| | う ち 薬 品 費 | 487,853 | 489,124 | 568,902 | 79,778 | 467,133 |
| | (3) 経 費 | 737,329 | 783,862 | 762,261 | ▲ 21,601 | 758,290 |
| | う ち 委 託 料 | 509,098 | 544,065 | 540,807 | ▲ 3,258 | 533,346 |
| | (4) 減 価 償 却 費 | 397,272 | 400,589 | 398,952 | ▲ 1,637 | 382,241 |
| | (5) そ の 他 | 46,638 | 52,450 | 52,039 | ▲ 411 | 42,015 |
| | 2. 医 業 外 費 用 | 201,541 | 212,616 | 218,342 | 5,726 | 220,476 |
| | (1) 支 払 利 息 | 44,382 | 41,868 | 41,852 | ▲ 16 | 33,320 |
| | (2) そ の 他 | 157,159 | 170,748 | 176,490 | 5,742 | 187,156 |
| 3. 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン 事 業 費 用 | 0 | 19,327 | 21,765 | 2,438 | 30,602 | |
| (1) 職 員 給 与 費 c | 0 | 16,496 | 18,947 | 2,451 | 26,554 | |
| (2) 材 料 費 | 0 | 100 | 106 | 6 | 500 | |
| (3) 経 費 | 0 | 2,431 | 2,672 | 241 | 3,048 | |
| (4) そ の 他 | 0 | 300 | 40 | ▲ 260 | 500 | |
| 経 常 費 用 (B) | 4,708,822 | 4,811,431 | 4,925,543 | 114,112 | 4,763,950 | |
| 経 常 損 益 (A)-(B) (C) | 253,895 | ▲ 7,359 | ▲ 185,068 | ▲ 177,709 | 7,719 | |
| 特 別 損 益 | 1. 特 別 利 益 (D) | 575 | 0 | 7,313 | 7,313 | 0 |
| | 2. 特 別 損 失 (E) | 98 | 1,000 | 265 | ▲ 735 | 1,000 |
| | 特 別 損 益 (D)-(E) (F) | 477 | ▲ 1,000 | 7,048 | 8,048 | ▲ 1,000 |
| 純 損 益 (C)+(F) | 254,372 | ▲ 8,359 | ▲ 178,020 | ▲ 169,661 | 6,719 | |
| 累 積 欠 損 金 (G) | 2,745,894 | 2,754,253 | 2,923,914 | 169,661 | 2,717,940 | |
| 流 動 資 産 (ア) | 1,628,536 | 1,577,465 | 1,691,214 | 113,749 | 1,652,605 | |
| 流 動 負 債 (イ) | 734,574 | 744,125 | 918,000 | 173,875 | 662,046 | |
| う ち 一 時 借 入 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 翌 年 度 繰 越 財 源 (ウ) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (エ) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 単 年 度 資 金 収 支 額 | 265,500 | ▲ 60,622 | ▲ 120,748 | ▲ 60,126 | 40,133 | |
| 累 積 欠 損 金 比 率 $\frac{(G)}{a} \times 100$ | 71.4 | 64.0 | 68.8 | 4.8 | 62.1 | |
| 経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$ | 105.4 | 99.8 | 96.2 | ▲ 3.6 | 100.2 | |
| 医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$ | 85.3 | 93.9 | 90.6 | ▲ 3.3 | 97.0 | |
| 修 正 医 業 収 支 比 率 $\times 100$ | 82.2 | 90.9 | 87.6 | ▲ 3.3 | 93.9 | |
| 地 方 財 政 法 施 行 令 第 15 条 第 1 項 に よ り 算 定 し た 資 金 の 不 足 額 (H) | ▲ 1,112,479 | ▲ 1,066,860 | ▲ 1,006,734 | 60,126 | ▲ 1,175,964 | |
| 地 方 財 政 法 に よ る $\frac{(H)}{a} \times 100$ の 比 率 | ▲ 28.9 | ▲ 24.8 | ▲ 23.7 | 1.1 | ▲ 26.9 | |
| 病 床 利 用 率 | 66.9 | 84.3 | 80.5 | ▲ 3.8 | 85.9 | |

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:千円)

| 区分 | 年度 | R4実績 | R5 | | 差 ②-① | R9 |
|--|---|--------------|---------|---------|----------|----------|
| | | | 目標数値 | 実績 | | |
| 収 入 | 1. 企 業 債 | 60,100 | 279,000 | 219,700 | ▲ 59,300 | 55,000 |
| | 2. 他 会 計 出 資 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3. 他 会 計 負 担 金 | 103,497 | 169,307 | 169,259 | ▲ 48 | 88,342 |
| | うち 基 準 内 繰 入 金 | 103,497 | 169,307 | 169,259 | ▲ 48 | 88,342 |
| | うち 基 準 外 繰 入 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4. 他 会 計 借 入 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 5. 他 会 計 補 助 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 6. 国 (県) 補 助 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 7. そ の 他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 収 入 計 (a) | 163,597 | 448,307 | 388,959 | ▲ 59,348 | 143,342 |
| | うち 翌 年 度 へ 繰 り 越 さ れ る 支 出 の 財 源 充 当 額 (b) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 前 年 度 許 可 債 で 当 年 度 借 入 分 (c) | 9,900 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 純計(a)-(b)+(c) (A) | 153,697 | 448,307 | 388,959 | ▲ 59,348 | 143,342 |
| | 支 出 | 1. 建 設 改 良 費 | 80,001 | 299,000 | 239,629 | ▲ 59,371 |
| 2. 企 業 債 償 還 金 | | 226,502 | 363,317 | 363,317 | 0 | 283,757 |
| 3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 4. そ の 他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 支 出 計 (B) | | 306,503 | 662,317 | 602,946 | ▲ 59,371 | 358,757 |
| 差 引 不 足 額 (B)-(A) (C) | 152,806 | 214,010 | 213,987 | ▲ 23 | 215,415 | |
| 補 て ん 財 源 | 1. 損 益 勘 定 留 保 資 金 | 142,906 | 214,010 | 213,987 | ▲ 23 | 215,415 |
| | 2. 利 益 剰 余 金 処 分 額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 3. 繰 越 工 事 資 金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 4. そ の 他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 (D) | 142,906 | 214,010 | 213,987 | ▲ 23 | 215,415 | |
| 補てん財源不足額 (C)-(D) (E) | 9,900 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 当 年 度 同 意 等 債 で 未 借 入 又 は 未 発 行 の 額 (F) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F) | 9,900 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

| | R4実績 | R5 | | 差 ②-① | R9 |
|-----------|---------|---------|---------|----------|---------|
| | | 目標数値 | 実績 | | |
| 収 益 的 収 支 | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) |
| | 332,173 | 354,147 | 350,025 | ▲ 4,122 | 384,452 |
| 資 本 的 収 支 | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) |
| | 103,497 | 169,307 | 169,259 | ▲ 48 | 88,342 |
| 合 計 | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) |
| | 435,670 | 523,454 | 519,284 | ▲ 4,170 | 472,794 |

(注)

- 1 ()内はうち基準外繰入金額
- 2 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいう。